

厚生労働省北海道労働局発表  
平成28年9月16日

【担当】

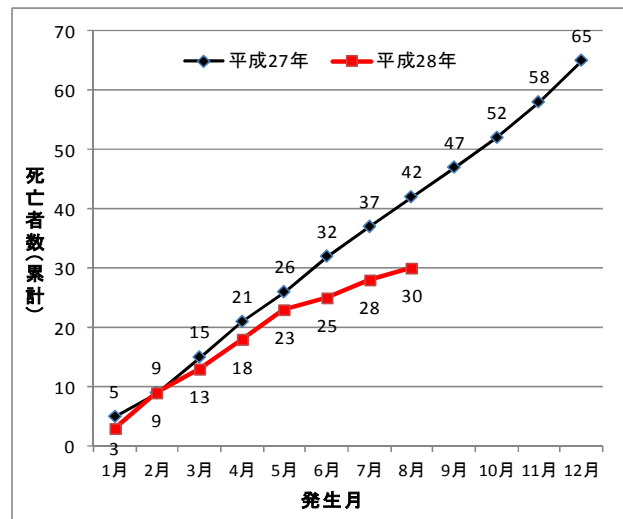
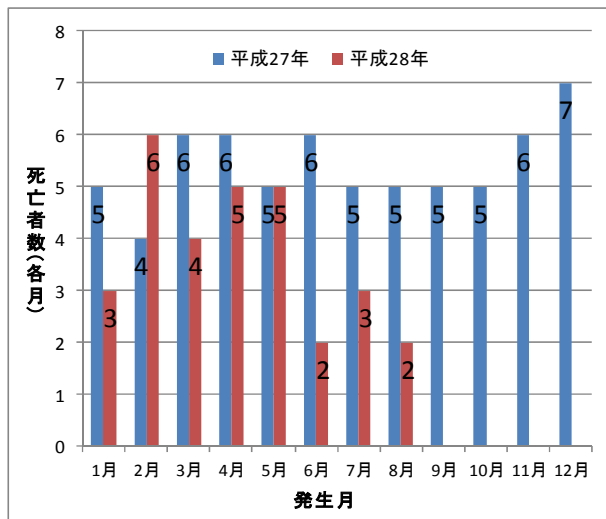
北海道労働局労働基準部安全課  
課長 工藤 英司  
安全専門官 渡邊 哲也  
電話：011-709-2311（内3557）  
FAX：011-756-0056

## 死亡労働災害は前年同期比12人減少 死傷労働災害は前年同期比1.7%減少

－ 平成28年の北海道内の労働災害発生状況（平成28年8月末現在速報値） －

### 1 労働災害による死亡者数（1月～8月）

平成28年の道内の労働災害による死亡者数は、平成28年8月末現在速報値で30人と、前年と比べ12人の減少となっています。



#### （1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「建設業」が11人（全体の36.7%、前年同期比8人減）、「製造業」が5人（全体の16.7%、前年同期比3人増）、「陸上貨物運送事業」が3人（全体の10.0%、前年同期比同数）、「林業」が3人（全体の10.0%、前年同期比1人増）、「農業・畜産業」が3人（全体の10.0%、前年同期比2人増）となっています。

#### （2）事故の型別の状況【資料3】

災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が6人（全体の20.0%）、「交通事故」が6人（全体の20.0%）、「激突され」が5人（全体の16.7%）、「はさまれ・巻き込まれ」が4人（全体の13.3%）、「崩壊・倒壊」及び「おぼれ」がそれぞれ3人（全体の10.0%）となっています。

## 2 労働災害による死傷者数（1月～8月）

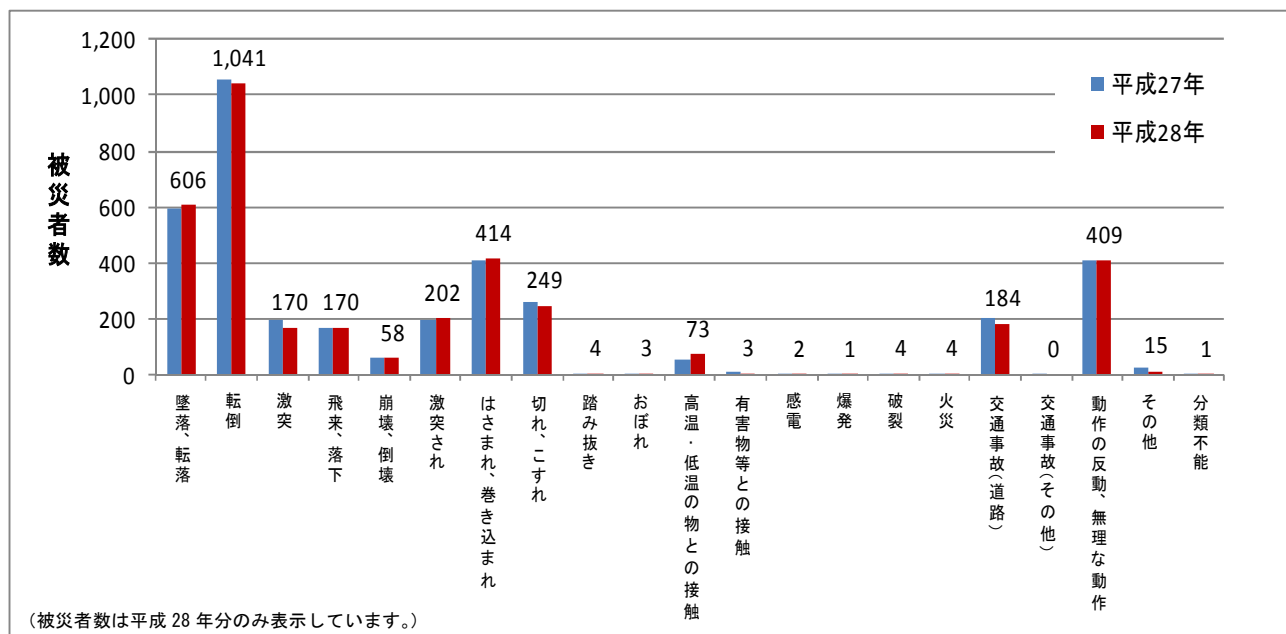
平成28年の道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成28年8月末現在で3,613人と、前年同期比63人減（1.7%減）となっています。

### （1）業種別の状況【資料4】

業種別に見ると、「製造業」が700人（全体の19.4%、前年同期比24人増）と最も多く、次いで「商業」が526人（全体の14.6%、前年同期比15人減）、「建設業」が475人（全体の13.1%、前年同期比57人減）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が413人（全体の11.4%、前年同期比32人減）の順となっています。

### （2）事故の型別の状況【資料5】

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が1,041人（全体の28.8%）と最も多く、次いで「墜落、転落」が606人（全体の16.8%）、「はさまれ、巻き込まれ」が414人（全体の11.5%）、「動作の反動、無理な動作」が409人（全体の11.3%）、「切れ、こすれ」が249人（全体の6.9%）、「激突され」が202人（全体の5.6%）、「交通事故（道路）」が184人（全体の5.1%）となっています。



## 3 北海道労働局の対応

（1）建設業では、建設工事追い込み期にあたる10月から12月に労働災害が多発する傾向にあることから、10月1日から12月31日を「建設工事追い込み期労働災害防止運動」として取組を展開します。

（※詳細は別途プレスリリース予定です。）

（2）台風の被害に係る災害復旧工事について、労働災害防止対策の取組の徹底を要請しています。

**【添付資料】**

- 1 平成28年における死亡災害発生状況[速報]
- 2 平成28年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 3 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 4 業種別労働災害発生状況
- 5 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 6 署別・業種別災害発生状況
- 7 死亡労働災害の概要（前月把握分）